

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019年2月13日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2019/02/13 17:30:16

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019年2月13日号

1. 学会関連情報

○第9回 技術士制度・試験講習会 主催：日本原子力学会 共催：日本保健物理学会

(2月16日(土) 13:30-17:00頃、一般社団法人 原子力安全推進協会 第1、2、3会議室)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=77>

○企画委員会 企画シンポジウム「医療における放射線防護を考える -医療被ばくと職業被ばく-」

(1月12日(土)に開催)

当日配布資料を公開

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=74>

○放射線安全文化の醸成に関する専門研究会 第2回会合の資料を公開

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=50>

○IRPA活動における日本保健物理学会の参画・貢献 各TG, WGのメンバーである会員からの報告掲載

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=57>

○IRPA15 (2020/5/11~15 韓国ソウル) 演題募集を2019/6/1より開始

<http://www.irpa2020.org/>

○(本学会協賛)第56回アイソトープ・放射線研究発表会のお知らせ(7月3日-5日、東京大学弥生講堂)

現在、一般発表演題のお申込みを受付中です。皆様からのお申込みをお待ちしております。

(一般発表申込締切:2月28日(木)17:00)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=142>

2. 関連する研究情報

(論文情報)

○JNCI Cancer Spectrum (2019) 2(4), 1-6

これまで原爆被ばく生存者の疫学調査で子宮がんと放射線との関係は明らかでなかったが、フォローアップ調査期間が長くなってきたことで、生活スタイルと生殖に関する因子を補正した分析の結果、放射線と子宮体癌との関連が被ばく時年齢が11歳-15歳で強く認められたが、それ以外の年齢では認められなかった。また、子宮頸がんと放射線との関係は認められなかった。

Radiation risks of uterine cancer in atomic bomb survivors: 1958-2009

Utada M et al

<https://academic.oup.com/jncics/article/2/4/pky081/5310398>

○Int J Radiat Biol. 2019 Feb 12 (電子版先行掲載). doi:10.1080/09553002.2019.1552373.

1987年から2016年の30年間に掲載された低線量放射線生物影響に関する753編の論文を計量書誌学的に解析した論文。30年間での論文報告数は1位が米国、2位が日本、3位がロシア(2007年から2016年の10年では日本は3位)。論文掲載先は、1位がRadiation Research、2位がInternational Journal of Radiation Biology、3位がJournal of Radiation Research。被引用回数は、1位が細胞周期停止に関連する1994年の論文(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/7958916>)、2位がバイスタンダー効果に関連する1992年の論文(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/1423287>)、3位が高LET放射線によるクラスターDNA損傷に関する2000年の論文(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/10618378>)。

Mapping the research trends on the biological effects of radiation less than 100 mSv: A bibliometric analysis for 30 years publication.

Park J et al

<https://doi.org/10.1080/09553002.2019.1552373>

○Agricultural Implications of the Fukushima Nuclear Accident (III) Editors; Nakanishi T M et al

農業関連論文のオープンアクセスブック 農地、森林、海、水環境における研究を網羅

<https://doi.org/10.1007/978-981-13-3218-0>

3. ニュースや社会の動き

○放射線審議会 第143回総会(平成31年1月25日開催) 議事資料及び会議映像を公開

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen/index.html>

○原子力規制庁 ウランの無許可インターネット販売(2017年11月末頃)に伴い通知文書を発出

(平成30年度第57回原子力規制委員会原子力規制委員会資料4)

<https://www.nsr.go.jp/data/000260947.pdf>

○厚生労働省 眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会 第1回(2018年12月21日) 議事録及び第2回

(2019年2月6日) 資料を公開

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02959.html

○放射線影響協会「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度における四半期毎の線量分布[平成29年10月から平成30年9月]」を公表

http://www.rea.or.jp/chutou/koukai_jyosen/shihanki/shihanki_jyosen-H29_ver.4.pdf

○東芝 福島第一2号機の燃料デブリ取り出しに向け原子炉格納容器内部堆積物調査装置を開発

https://www.toshiba-energy.com/info/info2019_0128.htm?from=RSS_PRESS&uid=20190129-5944

○IAEA 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組に関する第4回レビューミッション最終報告書を公表
主な所見、17項目の評価できる事項 (acknowledgement) と21項目の助言 (advisory point) を記載
<http://www.meti.go.jp/press/2018/01/20190131008/20190131008.html>

○米国放射線防護審議会 (NCRP) 科学委員会 SC4-9 報告書草案

「Medical Radiation Exposure of Patients in the United States」公開意見募集 (回答締切 2/26)

https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/Docs_in_Review/NCRPM1902.pdf (報告書草案)

https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/Docs_in_Review/CommentForm.pdf (コメント書式)

4. これからのイベント

○原子力規制庁 平成30年度研究成果報告会 (放射線安全規制研究戦略的推進事業)

(原子力規制委員会、2月14日 10:30-18:15、2月15日 10:00-15:00)

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kiseikenkyuu/00000024.html>

○NPO 法人放射線教育フォーラム「平成30年度放射線教育フォーラム第2回勉強会」

(3月3日 13:00-17:00、東京慈恵会医科大学高木2号館南講堂)

<https://www.ref.or.jp/>

○内閣府、JST ImPACT 藤田プログラム 公開成果報告会 (3月9日 11:00-17:40、品川インターシティホール)

“核変換による高レベル放射性廃棄物の大幅な低減・資源化” ~新たな選択肢の提案、未来に向けて~

<https://www.jst.go.jp/impact/sympo/fjt2019/index.html>

○福島大学環境放射能研究所 第5回成果報告会「避難区域の再生~現状とこれから~」

(3月14-15日、コラッセふくしま)

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/index.html>

○原子衝突学会 第26回原子衝突セミナー (3月28-29日、理化学研究所 和光キャンパス「大河内記念ホール」)

<http://www.atomiccollision.jp/seminar/seminar.html>

○京都大学複合原子力科学研究所 一般公開および桜公開 (4月6日 10:00-16:00)

<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/events/11173>

○米国科学アカデミー The National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine

Gilbert W. Beebe シンポジウム「The Future of Low-Dose Radiation Research in the United States」

(5月8-9日、2019、米国ワシントンDC)

<http://dels.nas.edu/Upcoming-Event/Gilbert-Beebe-Symposium/AUT0-5-92-64-H>

○Ricomet 2019 電離放射線における社会科学 住家内ラドン、医療応用、NORM、事故による汚染がテーマ
(7月1-3日, 2019、スペイン バルセロナ) 参加登録、アブスト投稿受付中 (参加登録締切:5月31日)
<http://ricomet2019.sckcen.be/en>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○原子力規制委員会

行政職員 (審査官・検査官) 数名から十数名 (締切:3月31日消印有効)

http://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_tech_01.html

行政職員 (上席指導官) 若干名 (締切:3月4日消印有効)

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_tech_02.html

○電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター (放射線防護のための放射線リスク評価と最適化研究)
常勤研究員1名 (締切:3月31日必着)

<https://recruit.denken.jp/kadai/post-274/>

○日本原子力研究開発機構 インターンシップ (敦賀) 開催 (2月27-28日、申込締切:2月18日)

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/new/seminar/104.pdf>

○京都大学複合原子力科学研究所原子力基礎工学研究部門 (核変換システム工学研究分野) 准教授1名
(締切:3月29日必着)

https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/associateprofessor_20190130.pdf

○公立大学法人首都大学東京 特定任用職員 技術 (施設管理) (締切:2月18日必着)

https://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_staff/8571.html

○東北大学大学院理学研究科化学専攻 先端理化学講座 助教 (締切:3月8日必着)

<http://www.chem.tohoku.ac.jp/news/jobs/2019/20190308.html>

○福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 助手 (総合画像検査技術学分野) (締切:3月29日必着)

<https://cms2.fmu.ac.jp/cms/shinzyun/wp-content/uploads/sites/139/2019/02/38b1526daa136e8279e617c267d95ad2.pdf>

○福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 准教授または講師 (総合画像検査技術学分野)
(締切:3月29日必着)

<https://cms2.fmu.ac.jp/cms/shinzyun/wp-content/uploads/sites/139/2019/02/86a67102ddd1c70526ca9706ec5f2b94.pdf>

